

全空連第 319号
令和4年9月26日

都道府県空手道連盟理事長 殿
競技団体空手道連盟理事長 殿
協力団体理事長 殿

公益財団法人全日本空手道連盟
専務理事 里見和洋



大会実施における注意喚起について（通知）

謹啓

秋冷の候、貴連盟におかれましては益々ご清栄のことと拝察申し上げます。

平素は当連盟事業にご理解とご尽力を賜り深く感謝申し上げます。

また、公益財団法人全日本空手道連盟に所属する各都道府県空手道連盟並びに競技団体、協力団体においては、年間を通して多くの大会を開催していただいております。技術向上を通じ空手道の普及発展に貢献いただき厚く御礼申し上げる次第です。

さて、最近時コロナ禍の影響で大会実施が遠のいたことが背景として考えられますが、各種大会で審判判定に関する疑義や苦情が複数寄せられています。具体的には服装の不具合の取り扱い、競技終了時間の管理、審判判定における第三者の介在などがありました。

所属団体におかれましては、今一度原点に帰り、競技規定を熟読して大会に臨んでください。審判員の技術向上への啓発ご指導をよろしく願いいたします。

全空連では「良い団体で最強の中央競技団体（NF）」をビジョンとして掲げ、選手や保護者ひいては社会から信頼される団体を目指して進んで参ります。連盟発展の大きな要件の一つであります、競技会の質的水準の向上に対するご尽力ご協力をぜひお願い申し上げます。

敬具